

学校教育目標 **未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成**

～ やさしい子：やさしいっばい かしこい子：かっぱい たくましい子：やる気っばい ～



和土小だより

さいたま市立和土小学校

令和5年 8月29日(火)

8・9月号 発行者 池田 誠

〒339-0033 さいたま市岩槻区黒谷1353番地 TEL048-798-0208 / FAX048-798-8730

学校Webページ：<https://wado-e.saitama-city.ed.jp/> Eメール：wado-e@saitama-city.ed.jp

児童数 160名

「命を守るために」

校長 池田 誠

酷暑。今年の夏に、幾度となく聞いた言葉です。その中でも、メヒシバやヤブガラシなどの雑草と言われてしまう植物は、暑さや日差しの強さに負けず、校庭や畑、植え込みの間でぐんぐんと成長していました。生命力の強さを感じました。

本日より2学期が始まりました。児童の元気な声が校舎内に響き、嬉しい限りです。この暑さの中での始まりにあたり、学校でも、授業中や休み時間などの児童の様子を見ながら、熱中症対策を含め、健康を考えた対応を引き続き行なってまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

9月1日は「防災の日」。1923年9月1日11時58分に発生した関東大震災の教訓を忘れないなどの意味を込めて制定されたものです。今年も関東大震災後100年という節目を迎えます。地震とその後発生した火災などにより、10万人を超えるかけがえのない命が失われ、約30万棟の家屋に被害があったそうです。神奈川県や千葉県では震度7の揺れがあり、この埼玉県でも震度6を観測したそうです。当時の和土村でも、数名の方の命が失われ、十数戸で全壊の家屋が確認されたそうです。今、関東大震災級の地震が起こったとしたら、どうでしょうか。当時と比べると丈夫な家屋が増え、消防の設備や救命救急の体制も整備されている、避難訓練や防災訓練も実施しているので、大きな被害が出ないかもしれません。しかしながら、私自身は、東日本大震災の時の揺れや学校の様子を忘れることはできません。

気象庁震度階級関連解説表には、震度6を超えると、「立っていることが困難になる。」「はわないと動くことができない。」「固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。」「ドアが開かなくなることがある。」「壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。」などと記されています。

学校では、2学期も地震などに対する避難訓練を予定しています。有意義な訓練になるように努めてまいります。地震はいつ・どこで・どのようなときに起こるかわかりません。地震が発生した際に、自分の周囲の状況を判断できるようにするとともに、地震発生時の安全行動「**1 ドロップ(姿勢を低く) 2 カバー(体・頭を守って) 3 ホールド・オン(揺れが収まるまでじっとする)**」が、素早くとれるように機会を捉え、指導していきます。ご家庭でも、避難場所なども含め話し合ってみてください。

81日間の2学期です。たかつえ自然の教室や遠足、社会科見学、修学旅行、150周年記念式典などの行事を数多く予定しています。日々の学習と各行事を通して、心身の成長につなげていきたいと考えています。

暑さが厳しき折柄、どうかご自愛ください。児童の健やかな成長と、本校の教育活動の推進のために、保護者・地域の皆様、引き続きお力添えをお願いいたします。



【体育館通路脇にあるムラサキシキブの実】

☆☆ 和土小の150年、そして未来へ ☆☆

【校舎A棟 大規模改修完了】

○昭和49年 5月10日 校舎A棟(鉄筋校舎4F・16教室)
完成 【開校100周年の年】

○平成 7年 9月25日 校舎A棟の大規模改修工事が完了

主な改修工事：校舎内外の塗装・教室内を木床へ・児童玄関が多目的室へ・各階トイレに洋式便器の設置・2階置部屋の新設・全教室内水道設置・A棟B棟間の2階通路設置・事務室の新設 等

エアコンの設置(平成20年度)、耐震補強工事完了(平成21年度)・トイレ改修工事(令和2年度)・照明LED工事完了(令和3年度)等も行われました。



【開校100周年記念 昭和49年9月12日 撮影】